

会議名	第1回地域計画分科会		公開
日時	令和2年7月14日(火) 午後7時30分～午後9時00分	場所	一鍬田公民館 2階 集会室
出席者	(委員) 伊田雅美、渡邊公美、小林勝則、山本いづみ、井上こずえ、 滝川多嘉子、田中純子		
	(事務局) 自治振興事務所：松井所長、森下主事		
欠席者	(委員) 柿野秀夫	傍聴者	0名
配布資料	次第、地域拠点の経緯、地域の意見の流れ		

議題・議事・発言等（要点記録）

1 開会

分科会長が挨拶を行い、本日の分科会成立の報告及び会議録署名人の指名を行った。
また、今後分科会において分科会長に事故等があった場合、職務を代理する者として井上こずえ氏を指名した。

2 説明

・ 八名地域計画について

分科会長が八名地域計画について、地域へのアンケート結果をまとめた現状マップなども見ていただきながら、説明を行った。

3 議事

・ 地域拠点の方針について

八名地域拠点を実施することとなった経緯・目的、現状について分科会長から説明し、地域拠点をより多くの方に活用してもらうためにはどんなことが必要か協議した。

地域拠点の活用に向けた意見については、以下のとおり。

<主な意見>

(分科会長) 拠点の成果を求められた際、拠点は「つなげる」ことが主であり、その成果はつながった先に表れるため、拠点としての成果を捉えにくい。

(委員) つなげたことはひとつの成果であり、その件数を整理してはどうか。

地域住民で地域拠点のことを知っている人も増えているが、地域拠点で何ができるかがわからないという方が多い。地域拠点でどんなことをやったかを示せば、地域住民にもわかってもらえるのではないかと。

(分科会長) どこに話したらよいか迷うことを地域拠点に持ち寄ってもらい、つないであげることができる。

(委員) 地域拠点はなぜ八名だけにあるのか。他地区との比較ができれば、存在意義が見えてくるのではないかと。

(委員) それぞれの地域自治区で、地域に合う形で進めている。

- (委員) 地域拠点の活用に向けては、まず、地域拠点の周知も必要ではないか。例えば、看板を設置するなど、拠点であることを知ってもらう工夫も必要。
- (委員) J A プラザにおいて、地域拠点と地域活動の利用区別は曖昧でいいのか。
- (委員) 地域拠点の予定表、地域活動として利用する団体の予定表を置いてはどうか。
- (委員) 地域活動の利用もありながら地域拠点も寄ってもらえることもあるため、明確に分けてしまうと厳しいかもしれない。ついでに寄ってもらえることもあるかもしれない。
- (分科会長) 地域拠点は、当初風除室で行っていたが、夏は暑く、冬は寒いため、現在の場所に移った。
- (委員) J A プラザで活動している団体の紹介も地域拠点の役目か。
- (委員) 地域活動交付金活用団体に限らず、いろんな地域活動の紹介も行っていいかどうか。
- (委員) 地域拠点とは「機能」の名前であって、表向きでは「〇〇窓口」などとすればわかりやすいのではないか。
- (委員) 地域協議会としては拠点という言葉でもよいが、地域に対しては「〇〇窓口」などの方がよい。
- (分科会長) 地域拠点への人の配置について、今後、同様の日程で担ってくれる方はいるだろうか。人の配置をせずとも他の手段で情報の収集などができるのであれば、情報の収集方法などを変えてみるのはどうか。
- (委員) 「目安箱」を置いて、意見を集めてはどうか。
- (委員) 風除室が開いているのは、土曜のやなマルシェを行っている時のみか。
- (分科会長) 風除室のみ開錠しておけば、開いている時間帯は自由に寄ることができる。
- (分科会長) 地域拠点にて情報収集など行うのは地域計画分科会委員となっているが、今後どのように選んでいくか。毎週水・金曜日では、担当する委員の負担にもなってしまうこともあるのではないか。場所は開けておくとして、人の配置はどうするのがよいか。
- (委員) 当番ということは考えられるか。
- (委員) 当番としても、誰でもできることではないと思う。ある程度知っていないとできないのではないか。
- (委員) その場で解決ではないので、いいのではないか。
- (委員) 1年目の委員など、対応が難しい委員もいると思われる。
- (分科会長) 情報の収集などが目的であり、人を配置することは目的ではない。人を配置せずに情報の収集などができればよいのではないか。
- (委員) 目安箱などで情報の収集などができれば、地域の方も好きなときに立ち寄ってくれるのではないか。ただし、返信ができない。
- (分科会長) 地区名や名前などを書いてもらえれば、返事はできるのではないか。
- (委員) スーパーなどでは、意見への回答が貼り出されているのを見たことがある。
- (委員) 地域拠点には、何人の方が訪れているのか。
- (事務局) 昨年度に実施した報告では、平均で1日あたり5人ほど訪れています。
- (分科会長) 来年度における地域拠点の運営について、場所はJA プラザの風除室でどうか。
- (委員) いいと思う。
- (分科会長) では、人の配置について、意見はあるか。

(委員) 風除室にいるとなると、季節によっては夏は暑く、冬は寒いので大変ではないか。また、地域協議会全体で協議した方がいい案が出ると思う。

(所長) 地域活動団体がJAプラザを利用する際に、情報収集などに協力しておらえるとよい。

(委員) 地域活動団体にも、活動の中で協力してもらえるとありがたい。

(分科会長) 来年度は人を配置せず、箱にて情報収集などを行えるか試してみるのも一案だと思われる。

協議の結果、地域計画分科会での意見をまとめると、以下のとおり。

- ・場所は、JAプラザ 風除室。
- ・人の配置はなく、情報収集は箱を設置。壁を掲示板として、情報発信。
- ・開設する曜日、時間などは、八名地域協議会全体などで検討していく。

以上の意見を地域自治区予算分科会や八名地域協議会全体にも意見をいただくなどして検討を進めていくこととなった。

4 その他

- ・ 次回の地域計画分科会について

話し合いの結果、次回の分科会を令和2年8月17日(月) 19時半から一鍬田公民館2階集会室で開催することとなった。

5 閉会

